氏名（生年月日）	藤本圭司（昭和51年11月5日）
本籍	香川県
学位の種類	博士（医学）
学位記番号	甲第４５８号
学位授与の日付	平成２７年３月２６日
学位授与の要件	学位規則第４条第２項該当
学位論文題目	Clinical significance of serum and urinary soluble urokinase receptor (suPAR) in primary nephrotic syndrome and MPO-ANCA-associated glomerulonephritis in Japanese （本邦の原発性ネフローゼ症候群ならびに MPO-ANCA 関連腎炎における血清・尿中可溶性ウロキナーゼ受容体（suPAR）の臨床的意義）
論文審査委員	主査　梶波康二 副査　本多隆文 古家大祐

論文審査結果の要旨

原発性 NS および MPO-ANCA-GN は有効な疾患特異的治療が少なく，重大な有害事象の多い副腎皮質ステロイドを主体とする非特異的免疫抑制療法に依存しているのが現状であり，これら疾患の病態解明と新たな治療標的分子の同定が望まれている。

本研究は，治療開始後の血清ならびに尿 suPAR 変化と NS 病勢変化との関係および治療前血清 suPAR と MPO-ANCA-GN の臨床/病理学的重症度との相関を初めて明らかにした。また，現在，治療開始後 6 カ月時点の状況によって判断されている NS 治療反応性について，治療開始後の血清および尿 suPAR 変化を指標に治療 2 カ月時点において治療反応性を同定できる可能性を提起した。さらに，腎生検によっても時に困難である FSGS と MCNS との鑑別を，治療開始後の血清および尿 suPAR 変化によって非侵襲的に高い精度で行える可能性も示唆している。今後，suPAR 測定がこれら疾患の新しい診療指針となることが期待されるとともに，suPAR の病因への関連と治療標的分子としての可能性を示唆した点で画期的と評価される。

以上により，本論文は博士(医学)の学位を授与するに値すると認められる。

（主論文公表誌）

Clinical and Experimental Nephrology, 2015